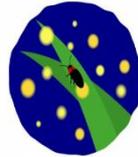




ほたる舞う学び舎

令和3年度 6月号

学校だより



あきる野市立一の谷小学校 校長 池戸龍一

い 命・人権・平和を大切に
ち 力いっぱいがんばり
の 伸び伸びと
た 楽しく活動
に ニコニコ笑顔の絶えない
「いちのたに」の子

地球と未来を守るには、まずは「知ること」が大切

校長 池戸 龍一

今年は桜が早く咲くなど春の訪れが早かったのに続き、梅雨や夏の訪れも早まると予想されており、学校でもその準備を始めています。そうした中、先週は延期となっていた1, 2年生の遠足に行ってきました。天候が危ぶまれましたが、再々延期となると梅雨に入ってしまうこと、予報によると雨雲はほとんど見られなかったことから実施の判断をしました。途中までは何とかもっていたものの、なかなか好転せず、子供たちが楽しみにしていた遊具での遊びはカットして少し早めに学校に戻ってきました。帰りは霧雨の中となったので、学校の体育館でストーブを焚いて、体を温めてから下校にしました。風邪をひく子はいないか心配しましたが、翌日は一人の欠席もなく安心いたしました。子供たちは、遊具で遊べなかったことは残念がっていたものの、「みんなでやったゲームが楽しかった。」「木の下で食べたお弁当がおいしかった。」「また「ストーブにみんなであたって楽しかった。」という声も挙がり、さすが子供たちは楽しむ天才だと感心させられました。きっと各御家庭で心と体のケアをしていただいたお陰だと感謝しております。



1, 2年生遠足



ストーブで元気になったよ

さて、先月号でもお知らせしましたように、今年度は、本校の特色である地域や日本の伝統文化を学べる地域の教育力（ローカル教育）に加え、世界に目を向けたグローバル教育にも取り組もうと「グローバル教育」を推進しています。先週はその第1弾として、日本ガラパゴス協会事務局長の奥野玉紀氏をお迎えして、ダーウィンの「種の起源」で有名なガラパゴス諸島を通し、低中高の3回に分けて世界やSDGsについて学びました。低学年の会では、ガラパゴスの珍しいかわいい動物たちを中心に、中学年の会では自然環境のことや進化のことにも触れ、高学年の会では加えて地球の抱える問題や国連の

オリパラ教室! 世界を学ぼう!



2021.05.21

取組、SDGsにも触れ、楽しみながらも真剣に学んでいました。自分たちの未来の課題を知った子供たちの心に、新たな可能性の種が植えられたことを期待しています。

終了後は、世界遺産に認定された小笠原諸島に運ばれる予定の実物大のガラパゴスゾウガメのフィギアを間近に見たり触れたりしながら教室に戻りました。



貴重な等身大ゾウガメフィギア